

2008年7月24日

LA-200 お客様 各位

テラメックス株式会社
品質管理課

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、「リアルタイム濁度測定装置 LA-200」を良好な状態で長くご使用いただくために、使用手順の要点と注意点をまとめた追加説明資料を作成いたしました。

つきましては、近日中にお客様宛（ご購入時の住所宛）に A4 両面印刷した資料を郵送させていただきます（2008年8月下旬）

なお、誠に恐れ入りますがご購入時からお客様情報が変更になっている場合は、以下のフォームに必要事項を記入の上、FAXにてお申し付けください。

LA-200 お客様情報変更フォーム

FAX:075-622-7699 (TEL:075-622-3158)

住所 (会社名/ 施設名)	〒 -		
所属			
Te l		Mail	
ご担当者名			
装置番号 (S/N)			

個人情報に関して

本シートにより取得したお客様情報は、アフターサービス目的にのみ使用いたします。

本装置を正しくご使用頂く為に、以下の点にご注意ください。

1. セットアップ

装置本体と付属PCがUSBケーブルで接続されているのを確認してください。
その後「**付属PC**→**装置本体**」の順で電源を入れ、「LA-200アプリケーションソフト」を起動してください。



2. 測定条件の設定

コントロールツリーの【設定】より測定条件を設定してください。

機器設定：装置とワークシートを接続します

温度設定：反応温度（ホットボネット・ブロック）を設定します

測定設定：反応時間・スレッシュホールドレベルを設定します

試料設定：試料コメント等を入力します



3. 試料のセット・測定

- ・ 温度の確認：各ブロックが設定温度に達したことを確認してください。
- ・ 試料のセット：反応チューブに傷、くもり、異物、気泡がない事を確認してから、キャップの開き口が手前になるよう検出部にセットしてください。
- ・ 測定開始・終了：試料セット後は速やかに測定を開始してください。測定終了後は反応チューブを検出部より取り出してください。

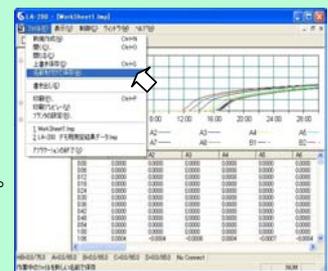


4. 結果判定・保存・CSV出力・解析（検量線）

結果判定は増幅曲線での濁度上昇で判定します。陽性/陰性コントロールとの比較により判定してください。

測定データは専用ファイル形式(.Imp)で保存できます。また、表計算ソフトなどでの活用に便利なCSV形式としても出力できます。

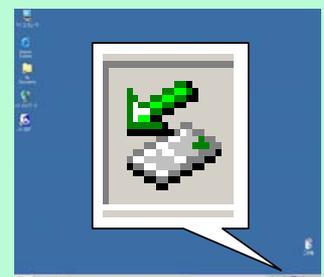
コントロールツリーの【解析】→【検量線】により、検量線を作成し、定量演算することが可能です。



5. アプリケーションの終了

メニューバーの【ファイル】→【アプリケーションの終了】をクリックしてください。（データが保存されていない場合、「*****への変更を保存しますか?」と表示されます。必要に応じて保存してください。）タスクバーの取り外しアイコンをクリックし、「TERAMECS LA-200を停止します」を選択してください。「**装置本体**→**付属PC**」の順で電源を落としてください。

反応チューブが検出部に残っていないことを必ず毎回確認してください。



検出部に埃やゴミ等が入ると、見かけの濁度が増大するため、測定値が不正確になります。正確な測定のためにも定期的に検出部メンテナンスを行うことをお勧めします。

検出部メンテナンス

検出部に蛍光灯や懐中電灯等で光を当て、ウェル内を目視で確認してください。PCRチューブの破片等の異物が存在した場合は、ウェル内に傷をつけないようにピンセット等を用いて取り除いてください。ピンセットで取り除けない小さな異物は、検出部に掃除機の吸い口を密着させて、異物を吸引してください。このとき、できるだけ細いノズルを使用すると効果的です。



長期保存の方法

長期間使用しないときは、埃などの異物浸入を防止するために、付属のダストカバーをかけて保管してください。長期間休止されていた後の使用では、必ず検出部メンテナンスを実施するようにしてください。



点検・校正

安全と精度（確度）維持の為、1年に1回以上の校正・点検をお勧めします。校正、点検に関しては、アフターサービス連絡先までご連絡下さい。

その他、取扱方法の詳細については取扱説明書にてご確認ください。

製造販売元：テラメックス株式会社

アフターサービス連絡先

TEL:075-622-3551 FAX:075-622-7699

E-Mail: loopamp@teramecs.co.jp

URL: <http://www.teramecs.com>